

「流域治水シンポジウムひろしま2025」の開催について

1 要旨・目的

流域治水の意識醸成を図るため、住民・企業の方々が「流域治水」に関わる身近な取組を知り、自分事として考えていただくことを目的に「流域治水シンポジウムひろしま2025」を開催する。

2 現状・背景

気候変動により激甚化・頻発化する水災害に対応するため、流域全体で実施すべき対策の全体像である「流域治水プロジェクト」に基づき対策を進めるとともに、雨水浸透阻害行為の許可等法的枠組みの活用に向けた特定都市河川流域の指定を進めるなど「流域治水」を強力に推進している。

また、「流域治水」を加速・深化するためには、住民・企業の皆様などの意識醸成が進むことが重要であることから、令和5年度より流域治水シンポジウムを開催しており、「流域治水」を一層進めていくため、引き続きシンポジウム等を通じ、様々な取組について知っていただくことにより、住民・企業の皆様の中から取り組む主体を増やしていく必要がある。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 実施日時

令和7年12月2日（火） 14時10分～17時（開場13時30分）

(3) 場所

広島YMCA国際文化ホール（広島県広島市中区八丁堀7-11）

(4) 実施内容

テーマ「身近な治水・防災で 未来の安心を育てる」

①基調講演

ア 関口 奈美氏「激甚化する気象災害～正しく備える意識と知識～」

イ 瀧 健太郎氏「できることからはじめよう 小さな流域治水・小さな自然再生」

②パネルディスカッション

テーマ「身近な流域治水と防災」

登壇者

○ファシリテーター

・瀧 健太郎氏：滋賀県立大学 環境科学部 教授

○パネリスト

・関口 奈美氏：気象予報士・防災士

・出尾 森梧氏：海田町立海田南小学校 教諭

・小串 紘也氏：広島工業大学 学生防災士会 代表

・澤田 大氏：サントリープロダクツ株式会社 天然水奥大山ブナの森工場

4 今後の対応

- ・シンポジウム開催について、県のSNS等を通じて広報を行うとともに、自主防災会や学校関係者についても関係者を通じて参加を促す。
- ・シンポジウム開催後、録画映像を広島県河川課のHPにて公開する。

流域治水 シンポジウム

ひろしま 2025

広島県では、近年、
平成30年7月豪雨や令和3年7・8月豪雨などにより
大規模な水災害が頻繁に発生しており、
みんなで被害を軽減させる取組が必要となっています。

開催日時

12/2(火)

14:10~17:00
(開場13:30~)

場所

広島YMCA
国際文化センター

会場定員
200名



入場
無料



身近な治水・防災で未来の安心を育てる

当日のスケジュール

概要説明

14:15~14:30

主催者

広島県の川づくりについて

広島県土木建築局長

藤田 士郎

パネルディスカッション

15:30~16:55

テーマ 身近な「流域治水」と「防災」

ファシリテーター

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 教授
瀧 健太郎

講演者

激甚化する気象災害
～正しく備える意識と知識～

気象予報士・防災士

関口 奈美

パネリスト

気象予報士・防災士
関口 奈美

広島工業大学学生防災士会
小串 紘也

国土交通省中国地方整備局
河川部 河川調査官
濱田 靖彦

講演者

できることからはじめよう
小さな流域治水・小さな自然再生

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 教授

瀧 健太郎

海田南小学校教諭
出尾 森梧

サントリーブロダクツ株式会社
天然水奥大山ブナの森工場
澤田 大

広島県土木建築局河川課長
水頭 顕治

主催：広島県

後援：国土交通省中国地方整備局

「流域治水」という言葉をご存じでしょうか？

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、行政だけでなく、川とともに暮らす地域住民や企業、関係者と協力し、流域全体で「水害に強い地域づくり」に取り組むという考え方です。今回のシンポジウムでは、「流域治水」や「防災」に関わる身近な取組について、様々な情報が展開されます。

講演者プロフィール



Kentaro
Taki

基調講演

ファシリテーター



Nami
Sekiguchi

基調講演

パネリスト

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 教授

瀧 健太郎

京都大学大学院を卒業後、建設コンサルタントを経て、滋賀県庁やリバーフロント研究所などで河川・流域管理、国際交流、環境政策に携わる。2009年には神戸大学で博士号(工学)を取得。現在は、流域の水循環と社会システムとの相互関係に着目し、継続可能な流域社会の実現に向けた政策や計画に関する研究を進めており、流域政策・計画に関する学問分野の体系化を目指しています。行政での経験を活かし、科学的知見と政策実装を結びつける役割を果たし、教育・研究・社会貢献の各方面で活躍しています。

気象予報士・防災士

関口 奈美

群馬県前橋市出身。早稲田大学を卒業後、NHK前橋放送局でキャスターを務める。その間、気象災害を目の当たりにしたことなどから、天気に詳しくなりたいと、気象予報士を目指す。2010年に気象予報士の資格を取得し、翌年からウェザーマップに所属。テレビ東京で2年、NHK総合テレビで7年気象キャスターを担当した。現在は全国各地で講演などを行っています。

パネリスト



海田南小学校教諭
出尾 森梧



広島工業大学
学生防災士会
小串 紘也



サントリープロダクツ(株)
天然水奥大山ブナの森工場
澤田 大

シンポジウムへのお申込み

右記のQRコード及び下記の県HPから
お申込みを受付しております。

項目に漏れなく記入の上、送信ボタンを押してください。



シンポジウム会場参加申込み締め切り

11月24日(月)17時まで

※先着順とし、定員になり次第、締め切れます。

録画配信について YouTube

シンポジウムの録画映像を
下記の県HPにおいて公開(1月頃予定)

流域治水シンポジウムひろしま 2025

視聴
無料

検索

開催会場

広島YMCA 国際文化センター 本館地下1階:国際文化ホール

〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀7-11



お問い合わせ先 広島県 土木建築局 河川課 河川企画グループ

TEL:082-513-3929 FAX:082-227-2206 メール:dokasenka@pref.hiroshima.lg.jp